

令和5年度事業報告

1 会員関係

(1) 会員の状況（令和6年3月31日現在）

- ア 会員総数 1,891名（正会員1,819名、賛助会員A9名、賛助会員B62名、特別会員1名）
- イ 年間入会者数 144名（正会員143名、賛助会員B1名）
- ウ 年間退会者数 175名（正会員171名、賛助会員B4名）
- エ 物故会員 7名

成原億次郎氏（潮来薬）、今川洋子氏（ひたちなか薬）、小倉辰雄氏（土浦薬）、濱野義夫氏（筑西薬）、片野実氏（水戸薬）、田畑隆一郎氏（高萩薬）、塚本泰司氏（龍ヶ崎薬）

(2) 叙位叙勲・表彰等

ア 叙勲

令和5年春の叙勲で、菅沼和子氏（常総薬）が学校保健功勞により、瑞宝双光章を受けた。

イ 大臣表彰

令和5年10月23日、西野郁郎氏（高萩薬）が薬事功勞により、厚生労働大臣表彰を受けた。

令和5年10月26日、島川清氏（笠間薬）が学校保健功勞により、文部科学大臣表彰を受けた。

ウ 茨城県表彰

令和5年11月15日、今井章人氏（水戸薬）、大曾根睦子氏（高萩薬）、松野演之氏（龍ヶ崎薬）、田口幸雄氏（石岡薬）、関利一氏（病診薬）が薬事功勞者知事表彰を受けた。

エ 茨城県学校保健会ほう賞

令和6年2月15日、渡邊龍雄氏（常陸大宮薬）が、学校薬剤師の活動に貢献した功績により、茨城県学校保健会ほう賞を受けた。

オ 日本薬剤師会表彰

令和5年4月1日、丹沢国弘氏（常陸大宮薬）、永井孝子氏（日立薬）、田宮良知氏（筑西薬）、元橋元氏（常総薬）が、永年の功勞により、日本薬剤師会有功賞を受けた。

令和5年10月26日、庄司幸枝氏（水戸薬）が日本薬剤師会学校薬剤師賞を、また、深谷哲博氏（行政薬）が、日本薬剤師会学校薬剤師活動協力者賞を受けた。

カ 県薬会長表彰

令和5年12月3日、宇田川宣子氏（水戸薬）、藤増美紀子氏（笠間薬）、伊藤多希子氏（常陸太田薬）、山本千鶴子氏（潮来薬）、油田ちづ子氏（龍ヶ崎薬）、岡山由紀子氏（龍ヶ崎薬）、山口克子氏（筑西薬）、森京子氏（筑西薬）、上野絵里氏（行政薬）が、茨城県薬剤師会の会務・事業に貢献した功勞により、県薬会長表彰を受けた。

2 会務関係

[会議の開催]

① 定時総会

令和5年6月18日に定時総会を開催し、令和4年度会務及び事業報告、令和4年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの附属明細書の承認、令和5年度事業計画及び収支予算

の報告、定款、代議員選挙規程、役員選挙規程の一部改正、理事・監事の選任等を行った。

② 理事会

令和5年5月16日、6月18日、7月22日、11月14日、令和6年3月12日の5回開催し、定時総会に付議すべき事項の協議、役員の選定及び部会長の指名並びに顧問及び相談役の委嘱、倫理審査委員会委員の委嘱、令和5年度補正予算、就業規則の一部改正、会費規程の一部改正、専務理事報酬の額、令和5年度事業の実施状況、令和6年度事業計画及び収支予算等を行った。

③ 常任理事会

令和5年4月11日、5月16日、6月18日、7月22日、9月12日、10月10日、11月14日、令和6年1月16日、2月13日、3月12日の10回開催し、理事会に付議すべき事項、入会の承認等、委員会等の報告、委員会委員及び学薬部会副部会長・幹事の指名・変更、関東ブロック協議会への提案議題、会務執行状況、「薬と健康の週間」関連事業補助金交付要項の制定、茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集會に係る協議、茨城県災害薬事コーディネーターに係る協議、令和5年台風13号の被災会員への見舞金支給に係る協議、倫理審査手数料規程の一部改正等を行った

④ 正副会長会議

令和5年4月11日、5月16日、6月18日、7月22日、9月12日、10月10日、11月14日、令和6年1月16日、2月13日、3月12日の10回開催し、会務の執行について協議を行った。

⑤ 地域・職域薬剤師会会長協議会

令和5年7月20日、11月30日、令和6年2月15日の3回開催し、令和5年度事業の進捗状況報告、「薬と健康の週間」関連事業補助金交付要項、同窓会活動支援事業及び学生会員推進事業、日本薬剤師会による地域薬活動調査、薬剤師資格証交付業務、令和6年度調剤報酬・介護報酬改定、令和6年度事業計画等について協議を行った。

⑥ 常置委員会

ア 総務委員会

令和5年10月30日に開催し、コンプライアンス研修会、同窓会活動支援事業、茨城県薬剤師会特別会員（学生会員）等について協議を行った。

イ 広報委員会

令和5年8月25日、10月12日に開催し、「薬と健康の週間」事業、ラジオ収録、県民公開講座、県薬会報等について協議を行った。

ウ 学術研修委員会

令和5年9月27日に開催し、地域薬剤師会研修担当者会議、毒物劇物取扱者試験の準備講習会、茨城県薬剤師学術大会、倫理審査委員会に係る規程、研究助成事業および研究計画書作成等に関する研修会等について協議を行った。

エ 薬局業務委員会

令和5年8月8日、10月21日、12月5日に開催し、新任薬剤師研修会、高度管理医療機器販売業等に係る継続研修会、緊急避妊薬の調剤に関する研修会、登録販売者外部研修会、薬剤師による禁煙支援研修会、薬事関係研修会、一般用医薬品の適正販売等に係る研修会、健康サポート薬局の申請に係る研修会等について協議を行った。

オ 地域医療委員会

令和5年8月30日、10月16日に開催し、茨城県後発医薬品の使用促進検討会議、茨城県国民健康保険かかりつけ医及び地域の薬局と連携した保健事業、薬剤師認知症対応力向上研修会、薬業連携に係る薬剤師業務の充実を図るための研修会等について協議を行った。

カ 職能対策委員会

令和5年9月21日に開催し、茨城県災害薬事コーディネーター及び茨城県災害支援薬剤師、ベストライフ事業に係るスキルアップ研修会、アンチ・ドーピング啓発活動等について協議を行った。

キ 医療保険委員会

令和5年8月21日、令和6年3月22日に開催し、個別指導に関する情報交換、研修会開催に係る事項、令和6年度調剤報酬・介護報酬改定への対応等について協議を行った。

ク 薬学生実務実習受入対策委員会

令和6年3月26日に開催し、次年度に向けたワークショップ、地域薬実務実習受入責任者会議、実務実習の質の向上を目的とした研修会等について協議を行った。

⑦ 部会

学校薬剤師部会

令和5年9月15日に幹事会を開催し、令和4年度事業報告、令和5年度事業進捗状況、茨城県学校薬剤師講習会、薬物乱用防止に関する研修会、学校薬剤師異動状況、学校環境衛生検査技術講習・学術研修会、私立の認定こども園を担当する薬剤師を対象としたアンケート等について協議を行った。

⑧ 選挙管理委員会

(令和5年度は開催なし)

【公益事業】

1 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

(1) 薬事情報事業

ア 薬剤師及び医療関係者からの薬事に関する質疑に対応した。(1,855件)

イ 薬局及び県内医療機関に対して医薬品情報に関する「P Iファックス」事業を実施した。
(薬価収載3回)

ウ 本会のホームページを利用した情報提供を充実させるとともに、メールニュースにより、迅速な情報伝達を図った。(メールニュース52回、AMR対策動画掲載)

エ 県薬会報に「情報室だより」を掲載し、医薬品情報の提供を行った。

オ 日薬及び都道府県薬業事情情報センターが協力して行っている文献書誌情報検索システム(Bunsaku)等の事業に参加し、薬剤師のD I活動を支援した。

(2) 学術大会開催事業

薬剤師の資質向上を図るため、関係団体と連携して茨城県薬剤師学術大会を開催するとともに、レセコンや分包機等の調剤機器展示会を開催した。(12/3、つくば国際会議場、306名、調剤機器展示10社出展)

(3) 研究支援事業

ア 薬剤師の臨床研究を支援するための研修会を実施した。(R6/3/7、WEB、77名、研究助成事業は内容の見直しのため休止)

イ 倫理審査委員会において、人を対象とする臨床研究を実施しようとする薬剤師に、倫理審査の場を提供した。(審査済7件、審査中1件、保留0件)

(4) 広報誌発行事業

ア 本会の実施している事業、各種会議の結果、薬剤師を取り巻く状況の周知を目的に、広報誌「県薬会報」を発行し、バックナンバーをホームページに掲載した。(152号～155号)

イ 本会の事業や各種会議の結果等の情報発信や伝達ツールとしてのホームページを運用した。

2 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

(1) ベストライフ事業

県の委託を受け、ベストライフ医薬品適正使用推進事業等を実施し、県民の生涯学習の場などに講師を派遣するとともに、講師のスキルアップを目的とした研修会を開催した。(71回、スキルアップ研修会 R6/2/7、WEB、38名)

(2) 薬と健康の週間事業

ア 薬と健康の週間に関連して開催される、地域薬剤師会が行う「街頭くすりの相談所」等のイベントの開催を支援した。(27回)

イ 薬剤師職能等を啓発するために、地域薬剤師会の協力により街頭くすりの相談所等のイベント会場でアンケートを実施した。(4,419件)

ウ 県民に、かかりつけ薬剤師を持つことの大切さを周知するために、啓発資材等を活用し広く配布した。(地域イベント配布用マスク)

エ セルフメディケーションを支援する薬局や薬剤師の役割を、広く消費者に啓発するため、薬剤師を講師に県民公開講座を実施した。(R6/3/3、水戸市民会館、115名)

3 公衆衛生の普及・指導に関する事業

(1) ヘルシースポット事業

県の委託を受け、「健康いばらき21プラン」に記載のある「ヘルシースポット指定薬局」を拠点として、禁煙相談等の事業を実施した。(指定薬局178軒、禁煙支援研修会 R6/1/18、WEB、253名)

(2) 毒物劇物適正使用啓発事業

毒物劇物の適正な取り扱いに資するため、毒物劇物取扱者試験受験者のための準備講習会を開催した。(10/28～29、薬剤師会館、85名)

(3) 健康情報拠点推進事業

ア 県民のセルフメディケーションを支援するため、セルフメディケーション支援薬局を指定した。(216軒)

イ 日本薬剤師会の健康サポート薬局等に係る研修に協力し、技能習得型研修を実施した。(研修会A：10/15、WEB、91名/研修会B：10/22、薬剤師会館、40名)

ウ 一般社団法人日本医療薬学会の依頼を受け、地域薬学ケア専門薬剤師制度の研修体制を整えた。

(4) 学校薬剤師部会事業

ア 新任学校薬剤師のための研修会を開催した。(4/9、薬剤師会館、28名)

イ 学校環境衛生や薬物乱用防止、くすり教育等に関する各種研修を開催した。(薬乱防止に係る講習会 11/28、WEB、197名、環境衛生に係る講習会 R6/1/28、薬剤師会館、28名)

ウ 学校薬剤師が行うくすり教育を支援するため、教材等の配付を行った。(32校)

エ 学薬メールニュースにより学校薬剤師への情報提供を行った。(11回)

オ 学校薬剤師斡旋窓口を市町村教育委員会等への周知することにより、学校薬剤師未設置校

への配置を推進した。(私立幼稚園等を対象に学校薬剤師の任命状況と検査実施状況に関する調査を実施(対象263園、回答140園))

カ 日本薬剤師会が実施する全国学校保健調査へ協力した。(WEB実施)

キ 地域薬剤師会学校薬剤師部会(地域学校薬剤師会)と連携し、学校薬剤師の就任、辞任希望者の調整を行った。(就任希望調査46名、辞任希望調査32名)

4 薬事衛生の普及・啓発に関する事業

(1) 薬事相談事業

県の委託を受け、医薬品の不適正な使用による県民の危被害を防止するため、「くすりの相談室」において、一般県民からの電話等による相談を実施した。(1,451件)

(2) 医薬品適正使用広報事業

茨城放送の番組「知っていますか?クスリのお話」(週2回放送)に協力し、薬剤師により医薬品の適正使用を啓発した。(29名出演、83回放送)

(3) アンチ・ドーピング啓発事業

医薬品や健康食品によるうっかりドーピングを防止するため、薬剤師に「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック」を配布するとともに、競技団体や学校と連携して行うドーピング防止啓発活動を継続して実施した。(ガイドブック配布8月、ブース出展2回(8/19、11/3))

5 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業

(1) 地域医療対策事業

A. 体制整備

ア 市町村毎に構築される地域包括ケアシステムの中で、薬局や薬剤師が適切に活動できるよう、地域薬剤師会の活動を支援した。

イ 入院医療から外来医療、外来医療から入院医療へと移行する場面で、切れ目ない薬物療法を推進するため、地域における薬薬連携の充実を支援した。(服薬情報提供書研修会 R6/1/29、WEB、32名)

ウ 県の委託を受け、市国保と地域の薬局が連携して行う保健事業を支援した。(古河市35軒、つくばみらい市7軒、146名に受診勧奨)

エ 茨城県看護協会が実施する「まちの保健室」へ、地域薬剤師会と連携して薬剤師を派遣した。(まちの保健室での協働相談実施(常陸太田市、下妻市、古河市)16名参画)

オ 日本薬剤師会が実施する、緊急避妊薬の販売に関する研究に協力した。(水戸市内の薬局3軒で対応)

カ 県の委託を受け、地域薬剤師会、介護支援専門員、市の三者による連携協議会の開催を支援した。(常陸太田市)

B. 薬剤師の資質向上

ア 県の委託を受け、薬剤師の認知症相談に関する対応力向上を目的とした研修会を実施した。(12/17、WEB、237名)

イ 茨城県産婦人科医会及び茨城県女性薬剤師会と連携し、オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会を開催した。(10/29、WEB、74名)

(2) 調剤・医薬品供給体制整備事業

A. 休日・夜間受入体制整備

ア 消費者が薬局を選択するうえで参考となるよう、会員保険薬局の情報をホームページで公開した。(986軒)

イ 地域薬剤師会の院外処方箋案内所が円滑に運営されるよう、薬局の新規開設・休業・廃業

情報を提供した。(6カ所 157回)

B. 薬事講習会

改正薬機法をはじめ、法令遵守の理解を深めるために、茨城県と連携し、薬局業務に関する研修会を開催した。(R6/2/29、WEB、416名)

C. 高度管理医療機器管理者継続研修

高度管理医療機器販売業等に係る継続研修会を開催した。(11/8～14、YouTube、500名)

D. 一般用医薬品適正販売事業

消費者からの健康や栄養に関する相談への対応や、一般用医薬品の適正販売に関する研修会を実施した。(R6/2/18、薬剤師会館、28名)

E. 医薬品登録販売者外部研修事業

薬局等に勤務する登録販売者の資質向上のために、研修会を実施した。(前期:11/12、WEB、120名/後期:12/10、WEB、119名)

F. 計量器検査

地域薬剤師会と連携して実施する、計量法に基づく薬局の天秤の定期検査が円滑に行えるよう、その取りまとめを行った。(14カ所)

G. 医療安全対策

ア 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」に協力し、薬局のインシデント事例の報告及び活用を推進した。

イ 調剤事故発生時に薬局が適切な対応を取れるよう、相談や支援を行った。(3件)

H. 後発医薬品対策

茨城県後発医薬品の使用促進検討会議が実施する、後発医薬品使用促進の事業に協力した。(ワーキング会議 11/13、検討会議 R6/2/19)

I. 日本薬剤師会への協力

ア 日本薬剤師会が実施するDEM事業等に協力した。(令和6年2月)

イ 日本薬剤師会の実施する薬剤師資格証交付事業に地域薬剤師会と連携して協力した。(355件案内)

(3) 医薬品品質確保事業

県内に流通している後発医薬品等の安全性・有効性を確保するため、試験検査を実施し、結果を広く公開した。(カルベジロール錠 10mg、50軒、全て適合)

(4) 保険調剤適正化事業

A. 調剤報酬請求事務講習会等

ア 適正な保険調剤を推進するため、薬局の新任保険薬剤師を対象に保険調剤講習会を開催した。(R6/1/25、WEB、87名)

イ 薬局の調剤事務職員を対象に調剤報酬請求事務講習会を開催した。(9/27～28、WEB、73名)

B. 情報提供

ア 令和6年度調剤報酬改定に合わせ説明会を開催した。(R6/3/31～4/8、YouTube、1,705名)

イ 保険調剤に関する情報を薬局に提供するために「保険薬局ニュース」を発行するとともに、メールニュースで保険調剤に関する情報を提供した。(保険薬局ニュース 19回)

C. 保険薬局指導協力

関東信越厚生局茨城事務所の行う保険薬局指導に協力するとともに、地域薬剤師会と連携して、適正な保険調剤に資する情報を薬剤師に伝達した。(新規個別7回、集団3回、個別3回、集団的個別2回、特定共同指導2回)

6 災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業

- ア 四師会のJMAT茨城研修会に参加するとともに、災害支援活動に従事する薬剤師の資質向上を目的とした研修会を開催した。(JMAT茨城研修会 3/29、WEB、薬剤師 16名)
- イ 災害時に医薬品供給を目的とした車両が優先的に給油を受けられるよう、災害応急対策車両の指定に係る事務を行った。(指定車両 160台、車両変更 4台)
- ウ 県の委託を受け、原子力災害に備えるため、東海第二発電所周辺に居住する住民等を対象に、近隣の協力薬局で安定ヨウ素剤を配布した。(参加薬局 82軒、配布 15,381件)
- エ 国の委託を受け、新型コロナウイルス感染症に係る調剤した薬剤を患者宅に配送する費用の一部を国費で負担する、「薬局における自宅療養等の患者に対する薬剤交付支援事業」を実施した。(実施薬局 9軒、件数 54件)
- オ 県の委託を受け、県が認定する災害薬事コーディネーターと連携し災害支援薬剤師養成事業を実施した。(認定証発行 43名、養成研修会 12/7、WEB、35名)
- カ 県の協力要請を受け、新興感染症発生時における薬局での医療提供体制の整備のため、感染症法に基づく「医療措置協定」に係る事業に協力した。(締結薬局 1,009軒、説明会 11/16、WEB、286名)
- キ 日本薬剤師会が要請する能登半島地震被災地への派遣薬剤師の募集に協力するとともに、四師会と連携して、被災地におけるJMATでの活動を実施した。(JMAT派遣 4名)

7 薬剤師の確保及び資質の向上に関する事業

(1) 薬学生実務実習事業

- ア 実務実習を円滑に行うために、地域薬剤師会実習受入責任者のメーリングリストを活用し、情報交換を行った。
- イ 薬局実務実習受入れに関して、地域薬剤師会の責任者や薬学教育協議会関東地区調整機構と連携して、受入施設の割り振りを行うほか、薬科大学と受入れ薬局との連絡調整を図った。(令和5年度受入薬局 75軒、受入人数 133名、令和6年度受入薬局 82軒、受入人数 153名)
- ウ 関東地区調整機構と連携して、認定実務実習指導薬剤師養成のための講習会及びワークショップに参加者及びタスクフォースを派遣した。(6/4養成講習会・7/16~17WS、帝京平成大、2名、6/25養成講習会、千葉県薬、1名、12/3養成講習会、武蔵野大、2名、12/3更新講習会、武蔵野大、1名、R6/1/7~8WS、星薬科大、1名、R6/1/21更新講習会、日本保険薬局協会、1名、R6/1/28養成講習会、栃木県薬、2名)
- エ 認定実務実習指導薬剤師の世代交代を促すため、ワークショップを開催した。(7/30養成講習会、薬剤師会館、20名、更新講習会、薬剤師会館、15名、9/23~24、薬剤師会館、26名)
- オ 茨城県内の薬局で実習を受ける薬学生に学生会員制度の周知を行った。(9名入会)

(2) 薬剤師バンク事業

無料の求人情報WEBサイトを運営し、未就業薬剤師の就業を促した。(求人件数 41件)

(3) 生涯研修事業

- ア 新任薬剤師の業務への熱意・向上心を醸成するための研修会を開催した。(6/29、WEB、36名(薬局 21名、病院 15名))
- イ 薬局の社会的責任が増大している状況を受け、薬局等に勤務する薬剤師を対象にコンプライアンスに関する研修会を開催した。(R6/3/10、薬剤師会館、17名)
- ウ 茨城県内で開催する薬科大学又は薬学部の同窓会開催等を支援した。

(4) 職業啓発事業

薬剤師を目指す子供達を増やすため、学校等が行う職業紹介活動に協力するほか、職場体験を受け入れる薬局を紹介した。(職業講話 21 件、職場体験 15 件)

【共益事業】

1 生涯学習支援事業

- ア 地域・職域薬剤師会及び賛助会員である製薬メーカーが主催する研修会に共催した。(三者共催集合研修 8 件、二者 WEB 研修 14 件)
- イ 研修認定薬剤師制度の認定対象講習会に薬剤師の参加を推進するため、地域・職域薬剤師会や関係団体、製薬企業などと連携し、ホームページに研修会情報を掲載した。(5/23 地域職域薬剤師会研修担当者会議開催)

2 会員の福利増進その他会務の執行

- ア 会務や組織運営の現状に即した各種規程等の見直しを行った。(定款の一部改正、代議員選挙規程の一部改正、役員選挙規程の一部改正、倫理審査手数料規程の一部改正、就業規則の一部改正、会費規程の一部改正、「薬と健康の週間」関連事業補助金交付要項の制定、同窓会活動支援事業規程の制定、学生会員推進事業運営規程の制定)
- イ 会員の自己研鑽の参考に供するため、有用な書籍を斡旋販売するとともに、会報等で内容を紹介した。(19 冊)
- ウ 地域薬剤師会と連携し、薬剤師の入会を促進した。(入会促進チラシ配布)
- エ 会員福利を充実させるために、会員特典となるような種々のサービスを取り入れるとともに、会員へ周知した。(FUJIYAMAnet クラブ、カーライフデスク、那須ハイランドパーク、りんどう湖、結婚相談所ツヴァイ、クルマ買取サービス JCM)
- オ 会員に会員の証である、ネームプレートを兼ねた会員証を発行した。(4 月発行)
- カ 薬剤師賠償責任保険・サイバー保険、休業補償保険・長期休業補償保険、新型コロナウイルス感染症店舗休業補償制度、薬剤(商品)補償制度、アンチ・ドーピング活動保険、日薬共済部、薬局ローンの取り扱いを行った。
- キ 薬局・店舗販売業管理記録簿を作成し、管理薬剤師の会員に配布した。(12 月発行)
- ク 保険調剤及び請求事務に必要な用紙等を作成し、会員に販売した。
- ケ 製薬企業や医療機器関連企業との連携を深めるために、賛助会員の入会を促進した。

【収益事業】

1 建物賃貸事業

会議室の貸し出しについて、企業などに広く広報し、促進した。(貸出 75 回)

2 事務代行業

茨城県病院薬剤師会等関係団体の事務代行を受託した。

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成していない。